

資料 1 調査票

第 9248 号

高齢者の雇用・就業の実態に関する調査

〔調査企画〕 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〔調査実施〕 社団法人 中央調査社

整 理 番 号				点 検

ご記入上のお願い

- ・本アンケートは、回答をお願いしたご本人がお答えいただきますようお願いいたします。
- ・特段の記載がない限り平成21年（2009年）8月1日現在の状況についてご回答ください。
- ・「1つに○」「あてはまるものすべてに○」など、調査票に書いてある指示をお読みになりながら、該当する番号に○印、または該当する数字をご記入ください。
- ・選択肢で「その他」に○をつけられた場合、なるべく具体的な事柄を（ ）内に記入してください。
- ・金額をご回答いただく箇所は、おおよその額をご回答いただければ結構です。
- ・この調査票にご記入いただいた結果はすべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用し、また個人の情報をそのまま公表したりすることはありませんので、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

I. 現在の就業・不就業について

問1 あなたは平成21年7月、収入になる仕事をしましたか。なお「仕事」には家業の手伝いや内職も含みます。また、仕事をもって7月中に休職・休業した人は収入になる仕事を「した」としてください。

1 した

2 しなかった → 7 ページの問8へ

問2 7月中に行っていた仕事の数はいくつですか・・・ 　　つ

問3 7月中に行っていた仕事の内容はどれですか。（1つに○）
仕事を2つ以上していた場合は、主な仕事1つの状況について記入してください。

- 1 会社、団体などに雇われて仕事をしていた（雇用者）
⇒ 2 ページの付問1、3 ページの付問2に進んでください
- 2 会社、団体などの役員（会社経営、役員等）であった
⇒ 3 ページの付問2に進んでください
- 3 商店、工場、農家などの自家営業（自営業主の場合をいいます）
⇒ 4 ページの付問3に進んでください

- 4 近所の人や会社などに頼まれて、任意に行う仕事をしていた
- 5 シルバー人材センターを通じて仕事をしていた
- 6 家庭で内職をしていた
- 7 家業（自家営業）の手伝いをしていた

→ 5 ページの問4に進んでください。

以下の（１）～（４）の質問は、問３で「１ 会社、団体などに雇われて仕事をしていた（雇
用者）」を選んだ方のみがお答えください。

付問 1

(1) 雇用期間は。(1つに○)

- | | | | |
|----------|----------------|----------|--------------------|
| 1 | 特に定められていない | 4 | 1ヶ月を超え1年未満の雇用期間 |
| 2 | 1年を超え5年以内の雇用期間 | 5 | 1ヶ月以内の雇用期間（日雇いを含む） |
| 3 | 1年の雇用期間 | | |

(2) ① 主にどのような勤務形態でしたか。

② また、勤務形態として最も望んでいるのはどのような勤務形態ですか。

[illegible]

(3) 以下のうち、主にどのような形で働いていましたか。(主なもの1つに○)

- 1 正社員
2 嘱託・契約社員
3 パート・アルバイト
4 労働者派遣事業の派遣労働者
5 その他（具体的に： ）

(4) 現在、雇用保険料、厚生年金保険料を支払っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1** 雇用保険料 **2** 厚生年金保険料 **3** どちらの保険料も支払っていない

付問 1 か月あたりの支払い金額は・・・約 円

以上の（１）～（４）にお答えいただきましたら、次のページの付問２に進んでください。

このページと次のページの（１）～（４）の質問は、問３で「１ 会社、団体などに雇われて仕事をしていた」または「２ 会社、団体などの役員であった」を選んだ方がお答えください。

付問２

（１）お勤めの会社には定年制度がありますか。

<u>１ ある</u>	<u>２ ない</u>	<u>３ わからない</u>
-------------	-------------	----------------

↓

↓

４ ページ（４）に進んでください

※（１）で定年制度が「ある」と答えた方へ

（２）① 定年年齢は何歳ですか。（全社一律の定年年齢を定めてない場合は、対象者が最も多い年齢をお答えください。）…………… 歳

② 定年後の従業員を雇用し続ける制度（以下、「継続雇用制度」と記します）はありますか。

<u>１ ある</u>	<u>２ ない</u>	<u>３ わからない</u>
-------------	-------------	----------------

↓

４ ページ（４）に進んでください

※（２）で継続雇用制度が「ある」と答えた方へ

（３）① あなたの会社では、どのような継続雇用制度によって定年後の従業員を雇っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| １ 勤務延長制度（定年年齢に到達した従業員を退職させることなく引き続き雇用する制度） |
| ２ 再雇用制度（定年年齢に到達した従業員をいったん退職させた後、再び雇用する制度） |
| ３ わからない |

② あなたの会社の制度では、最高何歳に達するまで、定年後の従業員を雇うことになっていますか。最も対象者の多い制度についてお答えください。

１ 最高 _____ 歳まで	２ わからない
----------------	---------

③ あなたの会社の制度では、継続雇用制度の対象となる従業員をどのように定めていますか。最も対象者の多い制度についてお答えください。（１つに○）

- | |
|--------------------|
| １ 原則として希望者全員 |
| ２ 対象者についての基準に適合する者 |
| ３ わからない |

④ あなたは定年後の従業員を雇用し続ける会社の制度を適用されていますか。（１つに○）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| １ 勤務延長制度を適用されている | ４ どの制度も適用されていない |
| ２ 再雇用制度を適用されている | ５ 定年年齢に達していない |
| ３ 適用されている制度がわからない | |

次ページ⑤に続きます

⑤ あなたの会社で実施されている継続雇用制度について、どのような要望をお持ちですか。
以下のうちあてはまるものすべてに○をしてください。

- [illegible]

※ 以下の（４）は60～64歳の方がお答えください。

60～64歳でない方は次のページの問題4に進んでください。

(4) あなたは高年齢雇用継続給付（含. 高年齢再就職給付金）を受給していますか。（1つに○）

1 受給している

2 受給していない → 問4へ

付問 高年齢雇用継続給付の金額は1か月あたりいくらですか。・・・約 _____ 円
(2か月分以上をまとめてもらう場合は、月割りにならしてご記入ください。)

※ 以上、(1)～(4)にお答えいただきましたら、次のページの問4にお進みください。
(付問3は飛ばしてください。)

次の付問 3 (1)、(2) は問 3 で「3 商店、工場、農家などの自家営業」を選んだ方のみがお答えください。

付問 3

(1) あなたはどのような経緯をへて、自営業主になりましたか。(1つに○)

1 自分で事業を起こした

2 家業を引き継いだ

3 その他（具体的に：

) } → 問4へ

(2) (1) で「1 自分で事業を起こした」と回答した方にうかがいます。

- ① 事業を起こしたのは何歳のときですか・・・ _____ 歳のとき。
- ② 事業を起こす準備を始めたのは何歳ごろからでしたか・・・ _____ 歳ごろから。
- ③ 事業を起こす前に勤務していた会社から、開業にあたって支援を受けましたか。

1 受けた

2 受けなかった

3 会社に勤務していなかった

以下の問4～問7は、7月中に仕事をしていた方は全員、お答えください。

問4 あなたが7月中に行っていた主な仕事1つについてうかがいます。

(1) 仕事の種類は何ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 | 6 保安の仕事 |
| 2 管理的な仕事 | 7 運輸・通信の仕事 |
| 3 事務的な仕事 | 8 生産工程・労務の仕事 |
| 4 販売の仕事 | 9 農林漁業の仕事 |
| 5 サービスの仕事 | 10 その他(具体的に:) |

(2) 仕事(勤務していた会社等の)の業種は。(主要な業種1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1 農林漁業 | 10 不動産業・物品賃貸業 |
| 2 鉱業 | 11 学術研究、専門技術サービス業 |
| 3 建設業 | 12 宿泊業・飲食サービス業 |
| 4 製造業
(具体的に: 製造) | 13 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業 | 14 11～13以外のサービス業
(具体的に:) |
| 6 情報通信業 | 15 医療・福祉 |
| 7 運輸業・郵便業 | 16 教育・学習支援業 |
| 8 卸売業・小売業 | 17 その他(具体的に:) |
| 9 金融業・保険業 | 18 公務 |

(3) 仕事をしていた(勤務していた会社等)の企業全体の従業員規模は。(1つに○)

(本社、支社、支店、工場などを含めた企業全体の従業員数でお答えください。)

- | | | | |
|----------|------------|--------------|------------|
| 1 4人以下 | 4 30～49人 | 7 300～499人 | 10 5000人以上 |
| 2 5～9人 | 5 50～99人 | 8 500～999人 | 11 官公庁 |
| 3 10～29人 | 6 100～299人 | 9 1000～4999人 | |

(4) あなたはその仕事を何年くらい続けていますか。会社等で勤務している場合は勤続年数をお答えください。(6ヶ月以下は切り捨て、7ヶ月以上は切り上げてください。)

約 _____ 年

(5) あなたは7月中に行っていた、主な仕事を今後も続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1 この仕事を続けたい ⇒ 問5へ |
| 2 ほかの仕事に変わりたい |
| 3 この仕事に加えて他の仕事もやりたい |
| 4 仕事をやめたい ⇒ 問5へ |

付問 主な理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 収入を増やしたいから | 6 通勤に便利な所で仕事がしたいから |
| 2 肉体的にもっと楽な仕事がしたいから | 7 自分の好きな時間に働きたいから |
| 3 体力、健康面で余裕があるから | 8 時間に余裕があるから |
| 4 知識・技能をより活かしたいから | 9 その他 |
| 5 やりがい・生きがいを感じる仕事がしたいから | (具体的に:) |

問5 あなたが7月中に仕事をしていました理由として、あてはまるものすべてに○をしてください。
また、主な理由1つを記入してください。

1	経済上の理由	4	頼まれたから
2	健康上の理由（健康に良いからなど）	5	時間に余裕があるから
3	いきがい、社会参加のため	6	その他（具体的に：_____）

* 7月に仕事をした主な理由の番号は 番

付問 具体的にはどのような理由ですか。(1つに○)

1 自分と家族の生活を維持するため 3 その他
2 生活水準を上げるため (具体的に:)

問6 7月の就業時間や収入についてうかがいます。2つ以上仕事をしていた場合は、すべての仕事をあわせた就業時間や収入についてお答えください。

(1) 7月中に働いた日数はどのくらいでしたか。

約 _____ 日（1時間でも働けば1日として記入してください。）

(2) 7月、1日当たりの仕事をした時間はどのくらいでしたか。

約 時間 (30 分以上は切り上げてください。)

(3) 7月の仕事からの収入(税込)はいくらでしたか。

① 賞与をのぞいた賃金等収入（税込）は ⇒ 約 _____ 円

② 賞与はありましたか 1 あった 2 なかった

→ 税込で 約 _____ 円

（「仕事からの収入」には、年金、恩給、雇用保険等の給付金、財産収入、その他仕送り金等を含みません。また自営業の場合は売上高から諸経費を差し引き、月割りにならして記入してください。）

(4) 今年1年間で、あなたがもらえる見込みの賞与(税込)はいくらですか。(もらえる見込みがない場合、「1 賞与をもらえる見込みがない」に○をしてください。)

1 賞与をもらえる見込みがない
2 賞与をもらえる見込みがある ⇒ もらえる見込みの金額：約 _____ 円

(5) 現在の仕事からの収入は、あなたの働きぶりと比較してどうですか。(1つに○)

1 高すぎる **2** ちょうどよい **3** 安すぎる

問7 あなたは、7月に行った仕事についてどの程度満足していますか。(それぞれ1つに○)

項目	大いに満足	やや満足	普通	やや不満	大いに不満
a.賃金・収入 ⇒	1	2	3	4	5
b.労働時間・休日 ⇒	1	2	3	4	5
c.作業設備・労働環境 ⇒	1	2	3	4	5
d.職場の人間関係 ⇒	1	2	3	4	5
e.経験・能力の活用度 ⇒	1	2	3	4	5
f.仕事の内容・やりがい ⇒	1	2	3	4	5
g.仕事全般として ⇒	1	2	3	4	5

以下の問8～問10は、問1で「2（7月中、仕事を）しなかった」と答えた方がお答えください。問1で「1（7月中、仕事を）した」と答えた方は8ページの問11へ進んでください。

問8 あなたが7月中に仕事をしなかった理由は何ですか。（1つに○）

- 1 仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった ⇒ 問9に進んだのち、問11へ
2 仕事をしたいと思わなかった ⇒ 問10に進んだのち、問11へ

問9 問8で「1 仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった」と回答した方にうかがいます。仕事につけなかった主な理由は何ですか。（1つに○）

- 1 適当な仕事が見つからなかった
2 起業・開業の準備中であつた
3 請負や内職の仕事の注文がこなかった
4 あなたの健康上の理由
5 家族の健康上の理由（介護等）
6 家庭の事情（5を除く。家事など）
7 その他
(具体的に：)

付問 以下の(1)～(5)は、問9で「1 適当な仕事が見つからなかった」と回答した方にうかがいます。

(1) 適当な仕事が見つからなかった主な理由は何ですか。（1つに○）

- 1 職種が希望と合わなかった
2 労働時間が希望と合わなかった
3 賃金、報酬が希望と合わなかった
4 通勤時間が希望と合わなかった
5 条件にこだわらないが、仕事がない
6 その他（具体的に：)

(2) どのような仕事の種類を最も希望しますか。（1つに○）

- 1 専門的・技術的な仕事
2 管理的な仕事
3 事務的な仕事
4 販売の仕事
5 サービスの仕事
6 保安の仕事
7 運輸・通信の仕事
8 生産工程・労務の仕事
9 農林漁業の仕事
10 その他（具体的に：)

(3) どのような働き方を最も希望しますか。（1つに○）

- 1 普通勤務（フルタイム勤務）で会社などに雇われたい
2 短時間勤務で会社などに雇われたい（日数が少ない、1日の労働時間が短いなど）
3 近所の人や会社などに頼まれたりして、任意に行う仕事をしたい
4 家庭で内職をしたい
5 自分で事業をしたい
6 その他（具体的に：)

(4) 現在、仕事を探すための活動をしていますか。

- 1 している
2 していない

(5) 仕事が見つからない状態はおおよそどのくらい続いていますか。

- 1 3ヶ月未満
2 3～6ヶ月未満
3 6ヶ月～1年未満
4 1年～1年6ヶ月未満
5 1年6ヶ月～2年未満
6 2～3年未満
7 3年以上

問 10 問8で「2 仕事をしたいと思わなかった」と回答した方にうかがいます。

仕事をしたいと思わなかった主な理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 経済上の理由 | 5 家族の健康上の理由 (介護など) |
| 2 今までの技能、経験が通用しなくなった | 6 趣味、社会活動に専念したいから |
| 3 適当な就職口がみつからなくなった | 7 家事などに専念したいから |
| 4 あなたの健康上の理由 | 8 その他 (具体的に:) |

付問 具体的な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 年金、退職金で生活できるようになったから |
| 2 財産収入があるから |
| 3 預貯金があるから |
| 4 配偶者や子供の収入があるから |
| 5 その他 (具体的に:) |

以下の問 11～問 14 はすべての方がお答えください。

問 11 あなた自身の7月の仕事以外からの収入はどのくらいですか。(年金、恩給、雇用保険等の給付金、財産収入(配当金、利子、家賃、地代など)、その他仕送り金等の合計をいいます。ただし、相続、贈与、退職一時金など経常的でないものは含みません。なお貯蓄の取り崩しは収入には含みません。)

※ ない場合は「2 ない」に○をしてください。

- | | |
|------------------|------|
| 1 ある → 約 _____ 円 | 2 ない |
|------------------|------|

問 12 あなたは今後、自分で事業を起こしたいとお考えですか。

- | | | |
|---------|----------|------------------|
| 1 考えている | 2 考えていない | 3 すでに自分で事業を行っている |
|---------|----------|------------------|

付問 自分で事業を起こすにあたって、問題になるのはどのような点ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1 経理や労務など経営者全般に必要な知識・ノウハウの習得 | 6 従業員の確保 |
| 2 製品・サービスの企画・開発 | 7 店舗、事務所、工場の確保 |
| 3 開業資金の確保 | 8 商品知識や業界情報など事業ごとに必要な知識・ノウハウの入手 |
| 4 販売先の確保 | 9 その他 (具体的に:) |
| 5 仕入先・外注先の確保 | 10 特に問題はない |

問 13 この1年間に、仕事に関連する知識を新たに習得するために、何らかの教育訓練(テキスト購入、通信教育、セミナー参加、専門学校への通学など)を受けましたか。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1 何も受けていない ⇒ 問14へ | → 次ページの付問へ |
| 2 教育訓練を受けていたが、すでに終了した | |
| 3 教育訓練を受講中である | |

付問 以下の（１）～（３）は問 13 で「２ 教育訓練を受けていたが、すでに終了した」、
「３ 教育訓練を受講中である」と回答した方にうかがいます。

（１）どのような知識の習得のために教育訓練を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 企業経営全般に関する知識 | 8 物の製造に関する知識 |
| 2 部門・職場のマネジメントの知識 | 9 品質・安全に関する知識 |
| 3 法律に関する知識 | 10 医療・福祉・介護に関する知識 |
| 4 経理・財務に関する知識（簿記など） | 11 外国語 |
| 5 営業・販売・接客に関する知識 | 12 パソコン、ワープロ、インターネット |
| 6 購買・物流に関する知識 | 13 ビジネスマナー |
| 7 設計・開発・デザインに関する知識 | 14 その他（具体的に： _____） |

（２）仕事に関連する知識を新たに習得するのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 現在まで主に従事してきた仕事に関して、新しい知識を身につけたいから |
| 2 これまで従事してきた仕事とは異なる仕事をするようになったから |
| 3 久しぶりに仕事をするようになったから |
| 4 転職準備のため |
| 5 独立開業の準備のため |
| 6 その他（具体的に： _____） |

（３）仕事に関連する知識を新たに習得する場合の問題はどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1 現在勤めている会社に、習得したい知識について学ぶ機会がない（教えてくれる人がいない、研修などの機会がない） |
| 2 仕事が忙しくて、教育訓練を受ける時間を確保するのが難しい |
| 3 習得したい知識を学ぶための教育訓練機関がどこにあるかわからない |
| 4 自分のニーズにあった内容やレベルの研修などが見つからない |
| 5 教育訓練を受ける費用がかかりすぎる |
| 6 その他（具体的に： _____） |
| 7 特に問題は感じていない |

問 14 現在、わが国の一般的な定年年齢は 60 歳ですが、今後、定年制に関する社会的な慣行はどのようなになるのが望ましいとお考えですか。（1 つに○）

1 今のままでよい

2 60 歳より上の定年年齢が普及するのが望ましい ⇒ 望ましい定年年齢： _____ 歳

3 定年廃止が普及するのが望ましい

→ 次ページ付問（２）へ

付問（１） なぜ今のままでよいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 今のままでも 60 歳以降に十分に働くことができ、勤労収入が得られるから |
| 2 定年年齢が引き上げられたり廃止されたりしても、希望する働き方ができるとは限らないから |
| 3 長く働きたくないから |
| 4 その他（具体的に： _____） |

付問（２） なぜ定年年齢の引き上げ、または定年制廃止が望ましいとお考えですか。
（あてはまるものすべてに○）

- 1 60歳以降でも、60歳までと同様、十分に働くことができるから
- 2 60歳以上の従業員を企業が積極的に活用する必要があると考えるから
- 3 公的年金の支給開始年齢が引き上げられるから
- 4 その他（具体的に： ）

Ⅱ. 55歳時点からの就業状況の変化について

以下の問 15 はすべての方がお答えください。

問 15 55歳当時、会社など（団体、官公庁、個人経営の商店や事業所を含む。）に雇われていましたか。

1 雇われていた 2 雇われていなかった → 15 ページの間 25 へ

付問 以下の（１）～（７）は、問 15 で「１ 雇われていた」と回答した方にうかがいます。

(1) 55歳当時していた仕事の種類（職種）は何ですか。（1つに○）

- 1 専門的・技術的な仕事 5 サービスの仕事 9 農林漁業の仕事
2 管理的な仕事 6 保安の仕事 10 その他
3 事務的な仕事 7 運輸・通信の仕事 (具体的に:)
4 販売の仕事 8 生産工程・労務の仕事

(2) 55歳当時していた職種の経験年数は通算しておおよそ何年くらいですか。

- 1 5年未満 3 10～14年 5 20～24年 7 30年以上
2 5～9年 4 15～19年 6 25～29年

(3) 55歳までに経験してきた仕事の内容を振り返るとどのようなものでしたか。
以下のうち最もあてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 ずっと同じような仕事をしてきた、
2 いろいろ経験したが、振り返ってみるとある特定分野に関連する仕事をしてきた
3 分野を超えたいろいろな内容の仕事をしてきた
4 なんともいえない

(4) 55歳当時勤めていた時は、以下のうちどのような形で働いていましたか。(1つに○)

- 1** 正社員 **3** パート・アルバイト **5** その他
2 嘱託・契約社員 **4** 労働者派遣事業の派遣労働者 (具体的に：)

(5) 55歳当時勤めていた時の役職は。(1つに○)

- 1** 一般従業員 **3** 課長相当 **5** 役員相当
2 係長相当 **4** 部長相当

(6) 55歳当時勤めていた会社などの全体の従業員数は次のうちどれですか。
(本社、支社、支店、工場などを含めた企業全体の従業員数でお答えください。)

- | | | | |
|----------|------------|--------------|------------|
| 1 4人以下 | 4 30～49人 | 7 300～499人 | 10 5000人以上 |
| 2 5～9人 | 5 50～99人 | 8 500～999人 | 11 官公庁 |
| 3 10～29人 | 6 100～299人 | 9 1000～4999人 | |

(7) 30歳～55歳の期間で何回転職しましたか。

- | | | | | |
|------|------|------|------|--------|
| 1 0回 | 2 1回 | 3 2回 | 4 3回 | 5 4回以上 |
|------|------|------|------|--------|

(8) ※ 現在仕事をしている人のみお答えください。

現在も55歳当時の会社などに勤めていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 55歳当時と同じ会社などに勤めている | 3 自営（自分で事業を営んでいる） |
| 2 55歳当時と別の会社などに勤めている | 4 その他（具体的に：_____） |

付問 「2 55歳当時と別の会社などに勤めている」と回答した方へ

どのような経緯で現在の会社に勤務するようになりましたか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1 在籍出向 | 4 会社の紹介・あっせんなどによらず、自力で再就職 |
| 2 転籍 | 5 その他（具体的に：_____） |
| 3 会社の紹介・あっせん | |

問 16 55歳以降現在までに定年を経験したことがありますか。

- | |
|----------------|
| 1 定年を経験したことがある |
| 2 定年を経験したことがない |

問 17 定年を経験したのは何歳の時ですか。2回以上定年を経験した方は、最初の定年を経験した年齢をお答えください。

_____歳の時

問 18 最初の定年経験時に、退職一時金は支給されましたか。

- | | |
|------|----------------------|
| 1 はい | 2 いいえ → 12 ページ問 20 へ |
|------|----------------------|

付問 退職一時金の支給額は概ねどの程度でしたか。

約 _____円 → 12 ページ問 20 へ

問 19 55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職しましたか。
(定年のない会社などから退職した場合を含みます。)

- | | |
|--------|----------------------------|
| 1 退職した | 2 現在も勤務している → 14 ページ問 23 へ |
|--------|----------------------------|

付問 1 退職したのは何歳の時ですか _____歳のとき

付問 2 事業主都合（解雇、人員整理など）による退職でしたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

付問 3 会社の早期退職優遇制度を活用しましたか。(1つに○)

- | | | |
|--------|------------------|-----------|
| 1 活用した | 2 制度はあったが活用しなかった | 3 制度がなかった |
|--------|------------------|-----------|

以上の付問に答えていただいたら、問 20 に進んでください。

問 20 あなたは最初の定年に到達（または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職）した直後の時期に仕事をしていましたか。

- 1 仕事をしていた
- 2 失業して仕事を探していた
- 3 仕事や求職活動はしていなかった

「2 失業して仕事を探していた」、「3 仕事や求職活動はしていなかった」と回答した方へ

付問1 定年（または退職）後、しばらくしてから再び働くようになりましたか。

- 1 再び働くようになった
- 2 そのまま引退した

付問2 問20で「2 失業して仕事を探していた」と回答した方のみ

(1) どのくらいの期間、失業して仕事を探していましたか。→ 年 月

(2) 失業していた期間に雇用保険を受給していましたか。

- 1 受給していた
- 2 受給していなかった

以上の付問1・2を答えていただいたら、13ページの問22へ進んでください

※ 以下の(1)～(4)は問20で「1 仕事をしていた」と回答した方にうかがいます。

問 21 (1) 定年に到達した直後（または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した直後）の仕事の種類（職種）は何ですか。（1つに○）

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 専門的・技術的な仕事 | 5 サービスの仕事 | 9 農林漁業の仕事 |
| 2 管理的な仕事 | 6 保安の仕事 | 10 その他 |
| 3 事務的な仕事 | 7 運輸・通信の仕事 | (具体的に:) |
| 4 販売の仕事 | 8 生産工程・労務の仕事 | |

(2) (1) でお答えいただいた職種は定年前（退職前）の職種と同じですか。「2 いいえ」とお答えになった方は、定年前（退職前）の職種を(1)の選択肢から1つ選んで記入してください。

1 はい 2 いいえ ⇒ 定年（退職前）の職種の番号は： 番

(3) 定年に到達した直後（または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した直後）の仕事からの収入は定年前（退職前）と比べてどう変わりましたか。

- 1 定年前（退職前）と比べて上がった → おおよそ %上がった
- 2 定年前（退職前）と比べて下がった → おおよそ %下がった
- 3 定年前（退職前）と変わらなかった

(4) どのようなかたちで仕事をしていましたか。

- 1 勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた ⇒ 13ページの付問へ
 - 2 勤務先から別の会社などをあっせんされて再就職した
 - 3 勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した
 - 4 自ら事業を起こした
 - 5 内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしていた
 - 6 その他（具体的に: ）
- 問22へ

付問 問 21 (4) で「1 勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた」と回答した方へ。

① あなたはどのような制度によって継続して雇用されましたか。(1つに○)

1 勤務延長制度 2 再雇用制度 3 わからない

② あなたに適用された制度の対象者はどのように定めてありましたか。(1つに○)

1 原則として希望者全員 2 対象者についての基準に適合する者 3 わからない

③ 現在も同じ勤務先にお勤めですか。(1つに○)

1 はい 2 いいえ

以下の問 22 は定年を経験された方のみお答えいただき、定年を経験されたことがない方は、問 23 へ進んでください。

問 22 最初の定年に到達した直後に、継続して雇用されなかったのはなぜですか。(1つに○)

- 1 再雇用・勤務延長を希望しなかったから
2 再雇用・勤務延長を希望したけれども雇用されなかったから
3 勤務していた会社に再雇用・勤務延長の制度がなかったから → 問 23 へ

(1) 希望しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1 再雇用後・勤務延長後に自分の
やりたい仕事ができなかったから | 9 健康上の理由から |
| 2 余剰扱いされたから | 10 家族などの介護のため |
| 3 職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから | 11 家業を継ぐ予定だったから |
| 4 再雇用後・勤務延長後の賃金が安すぎるから | 12 他の会社に転職したかったから |
| 5 再雇用後・勤務延長後の身分・役職に
納得いかなかったから | 13 独立開業したかったから |
| 6 再雇用後・勤務延長後の就業時間に納得が
いかなかったから | 14 趣味やボランティア活動に打ち込み
たかったから |
| 7 後進のポストや仕事を奪うことになるから | 15 年金など仕事以外の収入で十分に
生活できたから |
| 8 会社の業績が悪く、会社に迷惑をかけて
しまうと思ったから | 16 その他
(具体的に：) |

(2) 再雇用・勤務延長を希望したのに、雇用されなかった理由について会社側から説明を受けましたか。

1 説明を受けた 2 説明を受けなかった ⇒ 問 23 へ

付問 会社側の説明する理由について納得しましたか。(1つに○)

1 納得した 2 納得しなかった 3 どちらとも言えない

問 23 55歳以降の最初の定年・退職の前の時期に、定年・退職後の就業についてどのような希望を持っていましたか。また、最初の定年・退職後についた仕事は、実際にはどのような状況でしたか。以下のa～cの項目についてお答えください。

※ 55歳以降、定年・退職を経験されていない方は、定年・退職後の働き方についての希望と最も可能性の高い見通しをお答えください。

	①最も希望していた（いる）就業の状況 (1つに○)	②定年・退職後、最初についた仕事の (最も可能性が高い) 状況 (1つに○)
a.勤務先など	1 定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く 2 定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く 3 自営業者として働く 4 その他（具体的に： ） 5 仕事から引退したかった（したい）	1 定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く 2 定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く 3 自営業者として働く 4 その他（具体的に： ） 5 仕事から引退した（する）
b.仕事内容	1 定年・退職時と同じ仕事 2 定年・退職時とは異なる仕事 3 仕事から引退したかった（したい）	1 定年・退職時と同じ仕事 2 定年・退職時とは異なる仕事 3 仕事から引退した（する）

	①最低限希望していた（いる） 収入のレベル (1つに○)	②定年・退職後、最初についた際の（最も可能性が高い）収入のレベル (1つに○)
c.仕事からの収入	1 定年・退職時よりも多い収入 2 定年・退職時と同程度の収入 3 定年・退職時の8～9割程度 4 定年・退職時の6～7割程度 5 定年・退職時の4～5割程度 6 定年・退職時の3割以下 7 仕事から引退したかった（したい）	1 定年・退職時よりも多い収入 2 定年・退職時と同程度の収入 3 定年・退職時の8～9割程度 4 定年・退職時の6～7割程度 5 定年・退職時の4～5割程度 6 定年・退職時の3割以下 7 仕事から引退した（する）

※ 問 23a で「1 定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く」、「2 定年・退職時と異なる企業等で雇われて働く」ことを希望していた（している）答えた方にうかがいます。

付問 どのようなa. 就業形態、b. 勤務形態を希望していました（います）か。
また、実際の（最も見通しが高い）状況はどのようなものですか。それぞれお答えください。

	①最も希望していた（いる）働き方 (1つに○)	②定年・退職後、最初についた仕事の (最も可能性が高い) 状況 (1つに○)
a.就業形態	1 正社員 2 嘱託・契約社員 3 パート・アルバイト 4 労働者派遣事業の派遣労働者 5 その他（具体的に： ）	1 正社員 2 嘱託・契約社員 3 パート・アルバイト 4 労働者派遣事業の派遣労働者 5 その他（具体的に： ） 6 雇用以外の働き方（具体的に： ） 7 仕事から引退した（する）
b.勤務形態	1 フルタイム 2 短時間・短日勤務 3 勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務 4 在宅勤務 5 その他（具体的に： ）	1 フルタイム 2 短時間・短日勤務 3 勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務 4 在宅勤務 5 その他（具体的に： ） 6 雇用以外の働き方（具体的に： ） 7 仕事から引退した（する）

問 24 55歳以降の最初の定年・退職の前に何か準備をしていましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。また、○をつけた項目について、費用の補助や休暇の付与など、勤務先の援助を受けたかどうかお答えください。

※55歳以降、定年・退職を経験されていない方は、現在の準備の有無、勤め先からの援助の有無をお答えください。

定年・退職前の準備項目	実施の有無 (行っている ものに○) ↓	勤め先からの援助 (援助を受けて いるものに○) ↓
継続雇用のために自分の仕事上の能力のチェックを行っていた(いる)	1	1
継続雇用のために勤め先の訓練や研修を受けていた(いる)	2	2
再就職のために勤め先の訓練や研修を受けていた(いる)	3	3
各種教育訓練機関を利用して自己啓発をしていた(いる)	4	4
再就職先を見つけるための求職活動をしていた(いる)	5	5
自分で事業を起こすための準備をしていた(いる)	6	6
健康管理や体力作りに注意していた(いる)	7	7
定年・退職後の働き方や生活に関するセミナー・説明会を受けていた(いる)	8	8
その他の準備をしていた(いる)	9	9
特にこれといった準備はしていなかった(いない)	10	—

Ⅲ. 収入のある仕事からの引退について

問 25 あなたは収入になる仕事をすっかり辞めたいと考えている年齢がありますか。(1つに○)

- 1 考えたことがある ⇒ _____ 歳くらいまで働きたい
- 2 年齢に関係なくいつまでも働きたい
- 3 すでに仕事を辞めている
- 4 仕事についていたことがない

付問 (1) 何歳の時に仕事を辞めましたか。・・・ _____ 歳の時

(2) 仕事を辞めた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1 十分に働いたと思ったから | 6 家族などの介護のため |
| 2 <u>金銭的な理由で働く必要がなくなったから</u> | 7 趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから |
| 3 適当な職場がなかったから | 8 その他 |
| 4 健康上の理由から | (具体的に: _____) |
| 5 結婚・出産・育児のため | |

▶ (3) 理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 年金、退職金で生活できるようになったから | 4 配偶者や子供の収入があるから |
| 2 財産収入があるから | 5 その他 |
| 3 預貯金があるから | (具体的に: _____) |

IV. 年金の受給状況について

問 26 年金の裁定請求をし、「**年金証書・裁定通知書**」を受け取ったことがありますか。

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問 27 あなたは現在、公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）を受給していますか。受給している場合は、受給しはじめた年齢もご記入ください。

1 受給している → _____ 歳から 2 受給していない

付問 雇用保険の失業給付を受給していますか。

1 受給している	2 受給していない
----------	-----------

問 28 あなたは公的年金受給の「繰り上げ」あるいは「繰り下げ」を選択していますか。（本来の公的年金受給開始年齢よりも早く受給することを「繰り上げ」、遅く受給することを「繰り下げ」と呼びます。）

- 1 「繰り上げ」を選択している
- 2 「繰り下げ」を選択している
- 3 どちらも選択していない

2 「繰り下げ」を選択している

→ **付問** 繰り上げは「全部繰り上げ」ですか。

1 全部繰り上げ	2 一部繰り上げ	3 わからない
-----------------	-----------------	----------------

問 29 次の a～g のうち、あなたが受給している年金の種類は何ですか。また受給している場合に、1 か月当たりどのくらいの金額を受給していますか。以下にご記入ください。
(2 か月分以上をまとめてもらう場合は、月割りにならしてご記入ください。)

【お願い】ご回答には、最も新しい「年金証書・裁定通知書」、「裁定通知書・支給額変更通知書」、「年金改定通知書」をご用意いただくと便利です。

	受給の有無と、受給している場合の1か月当たり受給額	
a.厚生年金 特別支給の老齢厚生年金、障害厚生年金、遺族厚生年金を含みます。	1 あり： _____円／月	2 なし
b.国民年金（基礎年金） 老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、寡婦年金を含みます。	1 あり： _____円／月	2 なし
c.共済年金	1 あり： _____円／月	2 なし
d.企業独自の退職年金 （厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金、適格退職年金など）	1 あり： _____円／月	2 なし
e.国民年金基金	1 あり： _____円／月	2 なし
f.個人年金 （個人型確定拠出年金を含みます）	1 あり： _____円／月	2 なし
g.その他（労災補償年金など）	1 あり： _____円／月	2 なし

以下の問 30 は、60 歳以上の方のみお答えください。

問 30 老齢厚生年金の受給資格はありますか。（全額支給停止されている場合には「ある」としてください。）

1 ある

2 ない → 問 31 へ

付問 以下の（１）（２）は、問 30 で「1 ある」と回答した方にうかがいます。

（１）あなたの老齢厚生年金は、在職老齢年金制度（仕事による収入額によって年金受給額が減額される制度）によって、減額（全額支給停止を含む）されていますか。

1 減額されている

2 減額されていない

（付問）減額の状況についてうかがいます。

① 減額されているのは年間いくらですか。（お手元の「年金証書・裁定通知書」あるいは「裁定通知書・支給額変更通知書」に記載されている「支給停止額」が該当する数字です。）

・・・年間 _____ 円

② 減額がなかったら、1 年間でいくら厚生年金を受給できますか。（お手元の「年金証書・裁定通知書」あるいは「裁定通知書・支給額変更通知書」に記載されている「基本額」あるいは「基本となる年金額」が該当する数字です。）

・・・年間 _____ 円

（２）在職老齢年金制度による年金の減額を考慮して、就業時間や就業日数を抑えていますか。

（１つに○）

1 全く就業しないことにしている

2 就業時間や就業日数を抑えている

3 減額を考慮せずに働いている

4 その他（具体的に： _____ ）

（付問）就業時間や就業日数を抑えているのは、誰の意向によるものですか。 （１つに○）

1 自分の意向による

2 勤務している会社の意向による

3 自分と勤務している会社の双方の意向による

以下の問 31 は、55～64 歳の方お答えください。

問 31 仮にいま、公的年金（定額部分・報酬比例部分とも）の支給開始年齢が原則 65 歳になったとすると、65 歳までの生活水準と働き方（働いていない場合も含みます）について、あなたの対応は次のどれが近いですか。（1 つに○）

- 1 生活水準は変えず、勤労収入を増やす
- 2 生活水準と働き方は変えず、貯蓄を取り崩す
- 3 生活水準と働き方は変えず、年金を繰上げ受給する
- 4 働き方は変えず、生活水準を切り下げる
- 5 その他（具体的に： _____）

付問 どのようにして勤労収入を増やしますか。（1 つに○）

- 1 新たに仕事を始める/ほかの仕事を増やす
- 2 現在の仕事の就業時間を増やす
- 3 より収入のいい仕事に転職する
- 4 その他（具体的に： _____）

問 32 はすべての方におうかがいします。

問 32 公的年金等に関する、あなたの長期的な生活設計についてうかがいます。

（1）あなたは現在、公的年金等を含め、何年先までの収入計画をたてていますか。

- 1 だいたい _____ 年先
- 2 収入計画はたてていない

（2）あなたの公的年金給付額（満額受給の場合）は将来的に「上がる」と思いますか、それとも「下がる」と思いますか。

- 1 上がる
- 2 下がる
- 3 変わらない
- 4 わからない

問 33 に進んでください

（2）で「1 上がる」または「2 下がる」と答えた方にうかがいます。

- 付問 ① どのくらい上がる／下がるとお考えですか → おおよそ _____ % 程度
- ② およそ何年後に上がる／下がると思えますか。 → おおよそ _____ 年後から

V. 社会貢献活動について

以下の問 33 はすべての方におうかがいします。

問 33 あなたは、ボランティアなどの社会貢献活動（有給の方も含む）を行っていますか。（1 つに○）

※ ここでいう「社会貢献活動」にはシルバー人材センターを通じて紹介してもらった仕事を行うことは含まれません。

- 1 取り組んでいる → 付問 1、付問 2 にお答えください
- 2 取り組みたいと思っている → 付問 2 にお答えください
- 3 取り組みたいと思っていない → F 1 へ進んでください。

付問 1 ※ 以下(1)～(5)は問 33 で「1 取り組んでいる」と回答した方にうかがいます。

(1) 主にどのような団体で活動していますか。 1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 町内会・自治会 | 5 宗教団体 |
| 2 老人クラブ | 6 商工会・同業者団体 |
| 3 退職者の組織 (OB 会など) | 7 その他 (具体的に:) |
| 4 NPO・ボランティア団体 | 8 団体では活動していない |

以下 (2) ～ (5) は (1) でお答えいただいた団体での活動についてうかがいます。

(2) 活動形態は下記のどれにあてはまりますか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------|---|
| 1 役員 (有給) | 4 有償ボランティア A (必要経費を超えた報酬を支給されているボランティア) |
| 2 役員 (無給) | 5 有償ボランティア B (必要経費のみ実費弁済されているボランティア) |
| 3 有給職員 | 6 無償ボランティア |

(3) 1 か月あたりの平均的な活動時間はどのくらいですか。 ———→ 約 _____ 時間

(4) その団体での活動は何歳の時から始めましたか。 ———→ _____ 歳の時から

(5) その団体での活動では、これまでの仕事の経験や技術が活かされていると思いますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1 は い | 2 いいえ |
|-------|-------|

以上の (1) ～ (5) にお答えいただきましたら、次の付問 2 に進んでください。

付問 2 ※ 問 33 で「1 取り組んでいる」、「2 取り組みたいと思っている」と回答した方にうかがいます。

ボランティアなどの社会貢献活動に取り組みたいと思っているのはなぜですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 人の役に立ち、社会や地域に貢献したいから |
| 2 交友関係が広がるから |
| 3 余暇時間を有効に使うことができるから |
| 4 生きがいをもつことができるから |
| 5 健康や体力の増進につながるから |
| 6 自分の知識、教養、技術、経験を活かすことができるから |
| 7 新しい知識、教養、技術、経験を身につけることができるから |
| 8 組織に帰属し、活動に参加することに意味があるから |
| 9 自分の考えや理念を共有し実現したいと思ったから |
| 10 将来、NPO等を立ち上げたいと思っているから |
| 11 これまでの人生における罪滅ぼしや徳を積むという考えから |
| 12 その他 (具体的に:) |

VI. あなたご自身とご家族について

F 1 あなたの年齢は。

	歳
--	---

F 2 性別は。

1 男性	2 女性
-------------	-------------

F 3 最終学歴は（中退を除く）。

1 中学卒	3 短大・高専・専門学校卒
2 高校卒	4 大学・大学院卒

F 4 あなたの健康状態等についてうかがいます。

（1）ふだんの健康状態はどれですか。（1つに○）

1 大変良い	2 良い	3 あまり良くない	4 良くない
---------------	-------------	------------------	---------------

（2）肉体的な面から見た就業の可能性はどれですか。（1つに○）

1 フルタイムで働くことが可能である	3 働くことはできない
2 職場・勤務の条件によっては就業可能である	

F 5 婚姻状況についてお答えください。（1つに○）

1 未婚	2 既婚（配偶者有り）	3 離婚・死別
-------------	--------------------	----------------

↓

付問 ※ 以下の（1）～（4）は F 5で「2 既婚」と回答した方にうかがいます。

（1）配偶者の方の健康状態は。

1 大変良い	2 良い	3 あまり良くない	4 良くない
---------------	-------------	------------------	---------------

（2）配偶者の方の最終学歴は（中退を除く）。

1 中学卒	3 短大・高専・専門学校卒
2 高校卒	4 大学・大学院卒

(3) 配偶者の方は、現在、収入のある仕事をしていますか。(最も近いもの1つに○)

- 1 会社、団体などに雇われて仕事をしている(雇用者)
- 2 会社、団体などの役員(会社経営、役員等)である
- 3 近所の人や会社の人に頼まれて、任意に行う仕事をしている
- 4 シルバー人材センターを通じて仕事をしている
- 5 家庭で内職をしている
- 6 商店、工場、農家などの自家営業をしている
- 7 家業(自家営業)の手伝いをしている
- 8 現在は収入のある仕事をしていないが、求職中である
- 9 現在収入のある仕事をしておらず、求職もしていない

F 6へ

選択肢1～7を選んだ方は(4)にお答えください

(4) (3) で選択肢1～7を回答した方におうかがいます。

① 配偶者の方は、通常1週間何時間働いていますか。不定期の場合には、7月の働いた総時間数を4で割った数値をご記入ください。

約 _____ 時間(30分以上は切り上げてください。)

② 7月の配偶者の方の仕事から収入はどのくらいでしたか。・・・ 約 _____ 円

「1 会社、団体などに雇われて仕事をしている(雇用者)」と回答した方のみ

③ 配偶者の方は以下のうち、主にどのようなかたちで働いていますか。(主なもの1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 1 正社員 | 3 パート・アルバイト | 5 その他 |
| 2 嘱託・契約社員 | 4 労働者派遣事業の派遣労働者 | (具体的に: _____) |

F 6 現在、あなたと生計を共にしている同居の家族はいますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 いる → _____ 人 | 2 いない → F 7へ |
|----------------|--------------|

付問 現在、あなたと生計を共にしている家族は。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|---------------|---------------|
| 1 配偶者 | 4 子供の配偶者 | 7 1～6以外 |
| 2 子供(既婚) | 5 孫 | (具体的に: _____) |
| 3 子供(未婚) | 6 親(一方、または双方) | |

F 7 子供さんはいらっしゃいますか。(同居の有無にかかわらずお答えください。)

- | | |
|------|--------------|
| 1 いる | 2 いない → F 8へ |
|------|--------------|

付問 同居の有無に関わらず、子供さんの全てが経済的援助を必要としなくなるには何年くらいかかるとお考えですか。

- | | | |
|-----------------|----------|------------|
| 1 すでに経済的に自立している | 3 3～4年程度 | 5 10年以上かかる |
| 2 1～2年程度 | 4 5～9年程度 | 6 見通しが立たない |

F 8 介護が必要な家族はいますか。

[illegible]

F9 あなたの世帯の収入・生計費についてうかがいます。

(1) あなたの世帯の生計をまかなう収入源は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	あなたの賃金等収入	8	親族の年金収入
2	配偶者の賃金等収入	9	仕送り
3	子供の賃金等収入	10	貯蓄の取り崩し
4	自営業などの事業収入	11	雇用保険
5	財産収入（家賃・利子・配当金など）	12	退職金の取り崩し
6	あなたの年金収入	13	生活保護
7	配偶者の年金収入	14	その他（具体的に：

(2) 主たる収入源はどれですか。上記(1)で選んだ番号のうち1つを記入してください。

主たる収入源・・・		番
-----------	--	---

(3) 7月のあなたの世帯の収入（税込み）はどのくらいでしたか。

約 円（相続、贈与、退職一時金など経常的でないものは含みません。）

(4) あなたの世帯の7月の生計費は、どのくらいでしょうか。

約 門

※ 生計費には、住宅ローン等の借金返済も含めてご記入ください。

(5) 現在の生活水準を基準にすると世帯（配偶者がいる方は夫婦のみ世帯、それ以外の方は本人のみの世帯（単身）を考えてください。）で、1か月あたりいくらぐらいの生活費があれば望ましいですか。（住宅ローン等は返済し終わり、子供は独立しているものとします。預貯金等の取り崩しは考えないでください。）また、その場合の生活費に占める公的年金の割合は何%ぐらいが適当と考えられますか。

※ 年金をまだ受給されていない方は、現在の生活水準を踏まえ、老後の生活を想像してご記入ください。

1 か月あたりの望ましい生活費： 円

(うち公的年金の占める割合： %)

F10 あなたの現在のお住まいは。(1つに○)

*あなたが単身赴任の場合は、あなたと生計を共にしている家族がふだん暮らしているお住まいをお答えください。

1 持家（一戸建） 2 持家（分譲マンション） 3 公営・公団賃貸住宅	4 借家・民間賃貸マンション・アパートなど 5 社宅・寮 6 その他（具体的に： ）
--	---

F 11 現在、あなたの世帯には貯蓄がありますか。

1 ある ⇒ 約 _____ 円 2 ない

F 12 現在、あなたの世帯には借入金がありますか。

1 ある 2 ない

付問 (1) 現在の借入金はいくらですか。

約 _____ 円

(2) 借入金のうち、住宅ローンの返済にあたる部分はどのくらいですか。

1 ある ⇒ 約 _____ 円 2 ない

F 13 あなたは、現在の自分の生活に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 満足している | 4 どちらかといえば不満である |
| 2 どちらかといえば満足している | 5 不満である |
| 3 どちらともいえない | |

※ ご自身の就業や生活について、あるいは高齢期の就業や生活に関する国の政策について特に感じておられることがありましたら、具体的にお書き下さい。

～ 調査はこれで終わりです。最後までご回答いただき、ありがとうございました。～